

青谷地域振興プラン

(平成 23 年度～27 年度版)



「和紙のオーロラ」：あおや和紙工房

平成 23 年 4 月
青谷町総合支所

1. 地域の現況

(1) 位置・地勢・土地利用

本地域は、鳥取県の中央部よりやや東に位置し、東西 8km、南北 13km と、山地や丘陵に囲まれた楕円形の地形である。総面積は 67.93 km²、総人口 7,184 人(平成 23 年 4 月 1 日現在)で、新鳥取市全体に対する人口比率 3.7%である。

西に東伯郡湯梨浜町、南は同郡三朝町、東は鳥取市気高地域・鹿野地域に接し、さらに北は日本海に面している。

中央部には標高 200m前後の台地が町を二分し、それぞれの谷に流れる勝部川と日置川に沿って集落が点在している。この二つの河川の合流地域である北部には水田地帯が広がり、住宅や商店・工場等が集中している。

区 分	土地利用面積		単位：k m ²
	青谷地域	鳥取市	
農用地	7.87	87.81	
宅 地	1.42	31.17	
林 野	52.43	548.78	
その他	6.21	97.90	
計	67.93	765.66	

(資料) 平成 20 年度 (平成 19 年度版) 鳥取県林業統計
鳥取市 総務調整監 固定資産税課

(2) 人口・世帯

本地域の人口は、昭和 30 年の 12,367 人をピークとして、年々減少ラインをたどっている。人口の流出と出生数の減少はとどまるどころがなく、人口の減少、高齢者(65 歳以上)比率の増加、0 歳から 14 歳までの子供の減少が著しい。

平成 23 年 4 月 1 日現在	青谷地域	鳥取市
人 口	7,184 人	196,244 人
世帯数	2,530 世帯	77,061 世帯

(住民基本台帳+外国人登録)

少子・高齢化の状況（国勢調査）

区分	人口	増減率	少子化の状況		高齢化の状況	
			15歳未満人口	率	65歳以上人口	率
昭和60年	9,189人	—	1,667人	18.1%	1,620人	17.6%
平成2年	9,002人	△2.0%	1,604人	17.8%	1,817人	20.2%
平成7年	8,639人	△4.0%	1,424人	16.5%	2,107人	24.4%
平成12年	8,095人	△6.3%	1,190人	14.7%	2,263人	28.0%
平成17年	7,608人	△6.0%	923人	12.1%	2,340人	30.6%
平成22年	7,452人	△2.1%	732人	9.8%	2,416人	32.4%

※ただし、平成22年は10月1日現在の住民基本台帳＋外国人登録人口

（3）集落の状況

平成23.4.1現在（住民基本台帳＋外国人登録）

町名	集落名	世帯数	人口	地区名	
小畑	お小畑	63	198	ひ日 おき置	
河原	かわ河原	163	495		
山根	やま山根	132	355		
早牛	はや早牛	58	174		
蔵内	くら蔵内	58	187	ひおきだに日置谷	
	しもくら蔵内下蔵内				
大坪	おお大坪	70	210		
奥崎	おく奥崎	70	210		
養郷	よう養郷	46	148		
	のぞみ望町				
善田	よし善田	162	289		
	しもよし下善田				
桑原	くわ桑原	40	131		かち勝 べ部
澄水	すん澄水	49	145		
楠根	くす楠根	27	86		
紙屋	かみ紙屋	42	114		
田原谷	たわらだに田原谷	44	123		
八葉寺	はつしよじ八葉寺	41	100		
鳴瀧	なる鳴瀧	23	51		
北河原	きたがわら北河原	31	101	ちゆう中 郷	
	かわ川つみ積				
山田	やま山田	21	59		

町名	集落名	世帯数	人口	地区名	
亀尻	かめじり亀尻	128	330	ちゆう中 郷	
	じよやま城山				
栄町	さかえ栄町	142	442		
絹見	きぬみ絹見	37	122		
	ひきじ地				
吉川	よしかわ川	45	139		
露谷	つゆだに露谷	44	125		
	しもつゆだに下露谷				
青谷	えきまえ駅前	880	2,505		あお青 谷
	あこうだに赤尾谷				
	ひがし東町				
	なか中町				
	ほん本町				
	はま浜町				
	なだ灘町				
	まえ前町				
	みどり緑町				
	なつどまり夏泊				
にし西町					
井手	いで井手	26	72		
長和瀬	ながわせ長和瀬	88	273		
計	43集落	2,530	7,184		

2. 地域の特性・資源

(1) 特性

- ①伝統的工芸品「因州和紙」産業は、伝統を守りながら新しい技術により研究された新製品も開発されており、厳しい経済状況の中で大きな成果を期待している。
- ②弥生人の脳が発見された青谷上寺地遺跡は、多量の鉄製品や精巧な木製容器などが良好な保存状態で出土していることから全国的にも注目されている。現在も発掘調査が続けられており、弥生時代の遺跡からの出土は本州初となる青銅鏡「星雲文鏡」が見つかるなど貴重な出土品が発掘されている。
- ③山海の豊かな自然、鳴り砂など自然環境に恵まれている。

(2) 資源

区分	主なもの
特産品	梨、びわ、いちご、甘長とうがらし、いがい、岩がき、わかめ、地酒、醤油、因州和紙、鳥取和牛
観光	あおや和紙工房、青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、不動山、鳴り砂の浜（井手ヶ浜・青谷浜）、長尾岬
イベント	あおや夏まつり(7月)、青谷ようこそまつり(10月)

3. 合併後の取り組み（平成17年度～平成22年度）

(1) 地域振興特定予算事業

①日中韓高校生国際シンポジウム開催事業

地域の国際化推進と青谷高等学校の国際化支援、人材育成に向けた取り組み推進。毎年9月実施。

【平成17年度 869千円、18年度 585千円、
19年度 488千円、20年度は中止、
21年度 288千円、22年度 448千円】



②太倉市代表团受入事業

交流都市中国太倉市との人的交流の推進。太倉市政府代表团を5名程度招請し、行政、企業視察や市民交流会を開催。

【平成17年度 345千円、18年度 184千円、19年度 176千円、20年度 185千円、
21年度は別事業（国際交流費）で対応、22年度 163千円】

③国際交流青少年使節団訪中事業

地域内の小中学生を交流都市の中国太倉市に派遣、少年宮の生徒らと交流等行い、国際感覚豊かな人材育成を図る。毎年8月実施。派遣人員10名以内。

【平成17年度1,421千円、
18年度1,589千円、19年度1,597千円、
20年度は中止、21年度1,095千円、
22年度1,240千円】



④国際交流協会補助金

地域国際交流活動の推進と交流都市中国太倉市との文化交流事業を支援。

【平成17年度180千円、18年度より市民手づくり交流事業補助金等で対応】

⑤あおや和紙工房管理事業費

伝統産業の因州和紙のPR施設「あおや和紙工房」の企画展・特別展開催等を委託し、集客力の向上及び和紙の振興を図る。

【平成17年度16,444千円、18年度15,611千円、19年度3,500千円、
20年度3,500千円、21年度3,500千円、22年度3,500千円】

⑥青谷ようこそまつり事業補助金

青谷を代表する伝統工芸品の「因州和紙」、「上寺地遺跡」、海山の豊かな自然と農林水産物などの魅力を、まつりを通してPRすることで住民の一体感を醸成し、地域活性化を図る。

・22年度メイン会場入場者数9,000人、
サブ会場入場者数630人

【平成17年度5,850千円、18年度4,620千円、
19年度4,555千円、20年度4,171千円、
21年度4,102千円、22年度3,907千円】



⑦あおや鯛漁まつり事業補助金

地元水産業の振興と海洋資源の保護、魚食の推進を図るとともに、都市間交流の継続、まちづくりの促進に寄与することを目的に実施。

【平成17年度990千円、18年度892千円、18年度をもって本事業は終了。】

⑧あおや夏祭り事業

青谷サービス商店会・鳥取市西商工会主催の夏の一大イベント。

コンサート、屋台、花火等。入場者数約2,000人。

【平成17年度900千円、18年度810千円、19年度729千円、20年度656千円、
21年度633千円、22年度633千円】

⑨わかとり国体記念卓球大会開催費

わかとり国体卓球会場を記念して開催。卓球愛好者の相互交流と技術向上を目

的に 11 月末頃開催。鳥取県・島根県の小学生約 500 名が参加。平成 19 年度からは自主財源のみで開催している。【平成 17 年度 180 千円、18 年度 227 千円】

⑩池田市・青谷町スポーツ少年団交流親善大会開催費

大阪府池田市とスポーツを通じた交流を深めることを目的に開催。平成 21 年度から鳥取市の参加者を西部地域に拡大。



【平成 17 年度 54 千円、
18 年度 54 千円、
19 年度 54 千円、
20 年度 54 千円、
21 年度 54 千円、
22 年度 54 千円】

⑪青谷町民ハイキング開催費

毎年 11 月 3 日に市民の健康づくりと体力づくりを目的に開催。

【平成 17 年度 115 千円、18 年度 110 千円、
19 年度 61 千円、20 年度 62 千円、21 年度は中止、
22 年度 62 千円】



(2) 合併地域活性化推進事業 (H19~)

「育もう郷土愛 次代に引き継ぐ青谷の魅力」をテーマに、和紙、鳴り砂の浜等の地域資源を次代に継承する事業として、和紙で作成した灯ろうを日置川に流す「夢灯ろう流し」、鳴り砂クリーン作戦などの環境美化活動、鳴り砂の浜を活用して環境問題について考えるイベントを実施し、地産地消活動等を行った。

これら事業の実施は青谷地域づくり協議会が中心となり、各種団体や会員が相互に協力し、青谷地域の活性化を図った。



【平成 19 年度 991 千円、
20 年度 954 千円、
21 年度 875 千円、
22 年度 887 千円】

(3) 地域振興プラン魅力創出事業 (H21~H22)

青谷地域特産の「因州和紙」、地下の弥生博物館として注目されている「青谷上寺地遺跡」を地域内外に発信 (PR) し、青谷地域の振興を図った。特に因州和紙については「大判和紙」を制作して、和紙の持つ新たな魅力を発掘し、情報発信することで

地域産業を活性化させることを目的とした。

【平成 21 年度 798 千円、22 年度 1,096 千円】

(4) 新市まちづくり計画に位置づけられ、実施した主な事業

- ①日置谷地区ほ場整備事業（県営） 【平成 17 年度～22 年度 35,820 千円】
- ②桑原河内線開設事業（県営） 【平成 17 年度～22 年度 29,621 千円】
- ③長和瀬漁港漁村再生交付金事業 【平成 17 年度～22 年度 986,412 千円】
- ④露谷本線道路改良事業 【平成 17 年度～22 年度 81,643 千円】
- ⑤青谷あさひ団地建替事業
【平成 17 年度～22 年度 751,188 千円】
- ⑥絹見簡易水道改良事業
【平成 17 年度～19 年度 150,251 千円】
- ⑦青谷小学校建設及び校舎耐震補強事業
【平成 19 年度～21 年度 649,609 千円】
- ⑧青谷小学校プール改修事業
【平成 22 年度～23 年度 86,264 千円】



(5) その他第 8 次鳥取市総合計画実施計画に位置付けられ、実施した主な事業

[ソフト事業]

- ①地籍調査事業 【平成 17 年度～22 年度 33,949 千円】
- ②地域審議会開催経費 【平成 17 年度～22 年度 5,130 千円】
- ③自治会活動振興事業 【平成 17 年度～22 年度 24,756 千円】
- ④青谷町観光キャンペーン事業 【平成 17 年度～22 年度 5,360 千円】
- ⑤青谷上寺地遺跡土地公有化 【平成 21 年度 528,471 千円】

[ハード事業]

- ①CATV整備事業 【平成 17 年度～平成 18 年度 752,360 千円】
- ②集落名表示板設置事業 【平成 20 年度 9,151 千円】
- ③青谷地区公民館（就業改善センター）改修工事 【平成 21 年度 74,079 千円】
- ④日置地区公民館（旧日置小学校）改修工事 【平成 22 年度 34,181 千円】
- ⑤漁港浚渫事業 【平成 17 年度～22 年度 83,458 千円】
- ⑥青谷町駅南排水ポンプ設置 【平成 18 年度～21 年度 110,182 千円】
- ⑦青谷町駅前排水ポンプ設置 【平成 21 年度～22 年度 23,583 千円】
- ⑧急傾斜地崩壊対策事業（県営） 【平成 20 年度～22 年度 3,500 千円】
- ⑨駅前駐輪場整備事業 【平成 21 年度 15,422 千円】
- ⑩青谷町蔵内簡易水道等整備事業 【平成 20 年度 34,952 千円】
- ⑪青谷町トレーニングセンター他下水接続事業 【平成 17 年度 4,875 千円】
- ⑫青谷町グラウンド管理棟改修浄化槽設置事業 【平成 18 年度 14,604 千円】

4. 地域の課題

(1) 交通対策

- 公共交通の維持・存続への対応

利用者の減少と減便・廃止によるサービス低下の悪循環にあり、利用促進の啓発を行う。

- 公共交通不便地区の解消

絹見・引地集落と小・中学校、医療機関等を結ぶ交通の確保。

(2) 定住対策

- 望町団地の分譲促進

- 定住促進・Uターンの支援

定住希望者への情報提供、空き家などの情報収集を図る。

(3) 防犯・防災対策

- 防災無線の更新

昭和60年に整備したもので老朽化しているため、デジタル化に対応した更新を図るとともに、ケーブルテレビによるコミュニティデータ放送の活用を検討する。

- 自主防災組織及び地域における防犯・防災力の向上

自主防災組織への支援と防災リーダーや防災指導員などの人材の養成を図る。

(4) 地区公民館を中心とした協働のまちづくり

- 地域活動の拠点施設の整備

旧勝部小学校を改修して、勝部地区公民館として整備する。

(5) 地場産業の振興

- 農業・漁業の振興

- ・農業公社、農協、漁協、行政及び住民一体の意識の高揚
- ・青谷産牛肉（鳥取和牛）のPR
- ・地元の食材を学校給食へ提供するなど、地産地消を積極的に推進する。

- 商工業

- ・伝統工芸等の技術伝承と後継者育成

販売額の低迷や後継者不足が課題となっている伝統工芸産業において、後継者育成のための支援事業や県外展示会への出展・販路拡大などの手段を通じて、伝統工芸産業のさらなる振興を目指す。

- ・地域ブランドの形成と確立

産地としての固有性と事業者に共通した地域優位性を維持するため、因州和紙紙製造業の継続性を確保するとともに、このブランドの価値を理解できる消費者や小売業事業者へ直接PRして販路の拡大を図る必要がある。

- 観光

- ・新たな観光素材の発掘

伝統行事や風習、史跡や名所旧跡など、地域づくり連絡協議会と連携しつつ、地域魅力の再発見に努め、観光資源としての有効活用に取り組む。

・他地域との連携

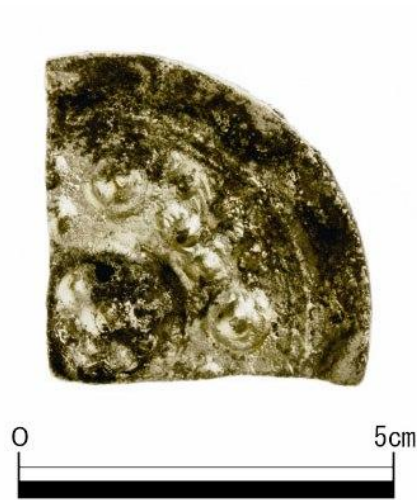
青谷町地域における周遊ルートに含まれる観光施設等には限りがあるものの、受け入れる側としては限りなく長期の滞在を期待するところである。そのため、鳥取砂丘を核にした鳥取東部地域で連携を強化する。

(6) 教育施設の整備

老朽化している青谷中学校の校舎の施設整備充実を図る。

(7) 青谷上寺地遺跡の利活用

国指定史跡の青谷上寺地遺跡の早期整備を推進するとともに、当面は地域の人々、青谷小学校と協働・連携した古代米づくりや菖蒲栽培、また、田んぼアート等に取り組みながら地区内外に情報を発信していく。



せいうんもんきょう
「星雲文鏡」 写真提供：鳥取県埋蔵文化財センター

(8) 中山間地域対策

人口減少や少子高齢化、過疎化が進行する集落の活性化を図るため、安心・安全な暮らしの確保、人材の育成、まちとむらの交流事業等を推進する。

5. 今後の取り組み (H23 年度～H27 年度)

(1) 取り組み方針

当地域は、海、山などの自然に恵まれ、上寺地遺跡に代表されるように、古来より豊かな自然にはぐくまれて人々が生活してきた。

これらの恵まれた素材を生かした農産物や海産物などの販路拡大や、古くから営まれていた因州和紙などの地場産業の振興を図っていく。

また、中山間地域としての特性を生かした活性化事業や各種交流を通して、移住・定住の促進、住みやすい環境を整備して活力ある青谷地域を目指していく。

(2) 具体的な取り組み

①地域振興特定予算事業

①日中韓高校生国際シンポジウム開催事業

地域の国際化推進と青谷高校の国際化支援、人材育成に向けた取組みを継続して推進する。毎年 9 月、青谷高校を会場に中国、韓国の生徒を迎えシンポジウムを開催する。

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり

環日本海交流をはじめ、国内外との交流を盛んにする

交流拠点の魅力創出

②青谷ようこそまつり事業補助金

青谷を代表する伝統工芸品の「因州和紙」、山海の豊かな自然と農林水産物などの魅力をPRすることで住民の一体感を醸成し、地域の活性化を図る。

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり

魅力、感動、癒しの空間でもてなす

ビジットとっとりの展開

③観光イベント開催補助金

青谷観光キャンペーン事業として、「西いなば再発見フォトコンテスト」を実施する鳥取市西商工会及び、観光振興を目的としたイベント等を実施する団体に対し、補助金を助成する。

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり

魅力、感動、癒しの空間でもてなす

ビジットとっとりの展開

④あおや和紙工房管理事業費

青谷町の特産である因州和紙のPR施設「あおや和紙工房」へ企画展・特別展等の企画運営を委託し、集客力の向上及び和紙の振興を図る。

【9次総での位置づけ】

ふるさとを愛し、次代を担う人づくり

文化・芸術に親しみ、楽しむ

文化芸術の振興

⑤あおや夏祭り事業

鳥取市西商工会に毎年恒例のあおや夏まつり事業に対する補助金を助成することにより、観光振興及び商業振興を図る。

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり

魅力、感動、癒しの空間でもてなす

ビジットとっとりの展開

⑥池田市・青谷町スポーツ少年団交流親善大会開催費

大阪府池田市と鳥取市西部地域（青谷、気高、鹿野）のスポーツ少年団が野球や文化施設での体験活動などを通して交流を深める。

【9次総での位置づけ】

笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	
健康を守り、いきいきと元気に暮らす	スポーツ・レクリエーションの振興

⑦青谷町民ハイキング開催費

毎年11月3日に市民の健康づくりと体力づくりを目的に開催する。

【9次総での位置づけ】

笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり	
健康を守り、いきいきと元気に暮らす	スポーツ・レクリエーションの振興

②合併地域活性化推進事業

①青谷地域活性化推進事業

現在まで、実施してきた事業の継続～発展～自立を目指し推進していく。特に市民との協働を働きかけていく。

主な事業：あおや夢灯ろう、環境美化活動、鳴り砂保全活動（ビーチフェスタ含む）、ふるさとPR活動、長尾鼻の自然保全活動

【9次総での位置づけ】

計画推進における基本方針	
自立と協働の強化	市民等との協働の推進

③中山間地域対策事業

①輝く中山間地域創出モデル事業

芸能活動支援事業、因州和紙活性化事業などを通して地域の活性化を推進していく。

【9次総での位置づけ】

心豊かにいきいきと人が輝くまちづくり	
個性を活かし、活躍できる環境をつくる	協働のまちづくりの推進

②里山交流促進モデル事業

中山間地域と市街地の住民の交流を推進していく。

【9次総での位置づけ】

緑あふれる 日本一のふるさとづくり	
快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる	移住・定住の促進

④鳥取市過疎地域自立促進計画に基づく事業

①市町村有償運送事業 計画年度 23 年度～

絹見・引地地区に市有償運送によりバスを運行することにより、児童生徒、高齢者等の移動手段を確保する。

【9次総での位置づけ】

緑あふれる 日本一のふるさとづくり	
地球環境を守り、誇れる自然と共生する	公共交通の確保

②フォレストコミュニティ総合整備事業

広域基幹林道（桑原河内線）事業負担金 計画年度 23 年度

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり	
国内外に躍進する競争力のある産業をつくる	農林水産業の振興

③道路改良事業

露谷本線他 2 路線 計画年度 23 年度～

【9次総での位置づけ】

緑あふれる 日本一のふるさとづくり	
地球環境を守り、誇れる自然と共生する	生活基盤の充実

④道路舗装修繕事業

市道田原谷桑原線他 2 路線 計画年度 23 年度～

【9次総での位置づけ】

緑あふれる 日本一のふるさとづくり	
地球環境を守り、誇れる自然と共生する	生活基盤の充実

⑤橋梁修繕事業

丸山橋他 計画年度 23 年度～

【9次総での位置づけ】

緑あふれる 日本一のふるさとづくり	
地球環境を守り、誇れる自然と共生する	生活基盤の充実

⑥児童福祉施設整備事業

すくすく保育園プール改修工事 計画年度 23 年度～

【9次総での位置づけ】

ふるさとを愛し、次代を担う人づくり	
次代を築き担う、たくましい子どもを育む	子育て応援の充実

⑤第9次鳥取市総合計画実施計画に位置付けられた主な事業
(H23～25年度)

①地区公民館施設管理事業 計画年度：平成23年度

勝部地区公民館改修工事

【9次総での位置づけ】

心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり

個性を活かし、活躍できる環境をつくる

協働まちづくりの推進

②旧中郷小学校解体撤去及び駐車場整備 計画年度：平成23年度

【9次総での位置づけ】

心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり

個性を活かし、活躍できる環境をつくる

協働まちづくりの推進

③因州和紙振興補助金 計画年度：平成23年度～平成25年度

因州和紙を伝承していくため各種事業に取り組んでいる団体に助成し、和紙文化の伝承と和紙産業の安定と発展を図る。

【9次総での位置づけ】

ふるさとを愛し、次代を担う人づくり

文化・芸術に親しみ、楽しむ

工業の振興

④漁港施設維持管理事業 計画年度：平成23年度～平成25年度

2 漁港の浚渫他

【9次総での位置づけ】

人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり

国内外に躍進する競争力のある産業をつくる

農林水産業の振興

⑤地域生活拠点整備事業 計画年度：平成23年度以降

都市再生整備計画の策定

【9次総での位置づけ】

緑あふれる日本一のふるさとづくり

快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

中心市街地の活性化

⑥簡易水道整備事業 計画年度：平成24年度以降

水道未普及地域の解消

改修の必要事項に応じた施設整備

【9次総での位置づけ】

緑あふれる日本一のふるさとづくり

快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

生活基盤の充実

⑦中学校校舎施設耐震補強事業 計画年度：平成25年度～

青谷中学校校舎の耐震補強をする。

【9次総での位置づけ】

ふるさとを愛し 次代を担う人づくり

次代を築き担う、たくましい子どもを育む

教育の充実